平成29年度　学校評価書

大津市立逢坂小学校

評価の基準 （ 3：よくできた　2：できた　1：あまりできなかった　0：まったくできなかった ）

項　目		評　価　の　観　点	自己評価（教職員による評価と平均値）(3・2・1・0) 昨年度 項目別	昨年度 中項目	今年度 項目別	今年度 中項目	現　　況	学校関係者評価(3・2・1・0) 中項目の評価	ご意見・提言等があればお書きください。	今後の改善に向けて
主体的、対話的で深い学び	1	支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践を行っている。	2.43	2.51	2.08	2.19	・協同的な学びを通した授業の校内研究は5年目を迎えている。日常の授業でも指導者が意識して「グループ学び」や「みんな学び」など「学び合い」を取り入れた授業実践を行うことで、伝える力や聴く力が定着してきた。今後も協同的な学びを通して、学び合う姿勢を育てていきたい。 **・基本的自尊感情に根ざした自己存在感を高めるとともに、行事や学年の取組、授業の中で社会的自尊感情が育つ支持的風土に満ちた集団を構築する。** また、特別活動（学級活動）を活性化させ、自治力を高めていきたい。	2.7	・グループでの学び合いやたて集団での活動は子どもたちを生き生きと成長させていると思う。 ・お互いに認め合って協力し合える学びは大切なことと思う。 ・できない子どもへの配慮を常に忘れないようにして欲しい（実技を伴う教科について） ・参観の中で大変感動を伴う授業も見られた。 ・子どもたちが将来にわたって大切にできる学力を、個々の努力の筋道を大切にしながら育てて欲しい。 ・版画、外国語活動、百人一首などの取組等多岐にわたった学習活動ができている。 ・結果ではなく、そこまでの過程を大切にすることが重要と感じる。 ・子どもたちが話し合いながら学習を進める姿が見られ、活発な授業である。 ・学び合いをする子どもの姿が幼稚園でも見られる。アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムを含め幼少で共に学んでいきたい。	・今後も**主体的、対話的で深い学びを具体的に追求する中で**授業実践を日常化し、児童が共に学び、共に高め合う学校を目指していく。 ・分からないことを「分からない」と素直に友達に尋ね、その願いに素直に応える子ども同士の関係をつくり、**自尊感情に支えられた支持的風土を土台に、**学力向上を目指していく。
	2	協同する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善をしている。	2.38		2.29					
	3	主体的、対話的で深い学びを追求する授業研究や研修会をしている。	2.71		2.20					
道徳教育の充実	4	生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳的実践力を 育てる活動の実施をしている。	2.52	2.49	2.16	2.20	・日常の道徳の時間の充実を図り、思いやりや自尊感情を高めるよう努めてきた。全校的には、イエローリボン、いじめま宣言等の取組は定着しているので、さらに意識を高めていきたい。 ・全校で道徳参観を実施し、「命の大切さ」を扱う授業を公開した。保護者に我が子への手紙を書いていただくなどして、共に命について考える機会となった。今後も継続させていきたい。 ・教科化に向けて年間指導計画の作成、教材・資料の整理等一層の充実を進めていく。 ・人権週間の取組だけでなく、日頃からの人権尊重を意識した授業づくりを推進していく。	2.5	・道徳教育は、学校任せにしないで各家庭や地域を挙げて努力して進めていきたい。 ・登下校の際にスクールガードへの「いつもありがとう」などの挨拶が素晴らしいと感じる。 ・登校班のリーダーが下の学年の子どもたちに優しく接することができている。 ・穏やかで優しいが、強い心でたくましく生きる力もつけて欲しい。 ・子どもたちが主体的に向から様々な取組ができている。 ・子どもたちが経験してもまれていろいろなことを身につけていくので、社会人になっても生きていく力を自分自身が持てるように助言してやって欲しい。	・平成30年度からの「特別の教科道徳」の実施に向けて、**指導計画、指導内容の明確化指、導方法の確立等**の準備を計画的に進めていく。 ・自尊感情や人・もの・自然を大切にする「豊かな心」を育むため、計画と評価のサイクルを止めることなく、取組を充実させていく。
	5	道徳の授業研究や資料の開発・整備・交流を行っている。	2.19		1.87					
	6	保護者等への道徳の授業公開を行っている。	2.76		2.58					
体力づくり	7	たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善を行っている。	2.29	2.54	2.50	2.54	・授業の準備運動に体力向上を目的として「鬼ごっこ」を取り入れる取組を共通理解・共通実践できた。 ・「55mでGoGoGo！」や「なわとびオリンピック」など体つくり委員会の取組が全校に定着している。 **・運動場改修工事が終わり運動場が全面使えることで子どもたちの運動量の確保ができてきた。また、昨年に引き続き子どもの体力向上と運動習慣の定着に向けて**体育館やオープンスペースでの取組を実施している。 ・週末および長期休業時の「体育の宿題」による運動習慣の定着を図っている。 **・今年度に入り固定遊具できたことで児童の遊びを通しての運動ができるようになった** ・家庭との連携をさらに強めて体力向上を目指す。また、家庭に積極的に情報を伝える努力が必要である。	2.8	・子どもたちが楽しみながら様々なことに取り組む工夫がされている。子どもには得意不得意もあるので、頑張ってやる過程を大切にしてほめてあげて欲しい。 ・体育の宿題のあり方・歯みがきカレンダーの取り組ませ方を再度検討して高学年の子どもたちも進んで取り組めるように工夫をお願いしたい。 ・いろいろな工夫を考えていると感じる。 ・よくしてくれている。体育苦手な子が頑張って縄跳びをしている。 ・縄跳び大会等工夫のある取組がなされている。	・体力向上、運動習慣の定着に向け、今後も家庭の協力を得る努力をしながら取組んでいく。 ・教員主体の取組はもちろん、児童会主体の取組等についても評価改善しながら継続して取り組んでいく。 **・体育の宿題の内容・方法の改善に取り組む。**
	8	体力づくりを推進する運動実践をしている。	2.71		2.62					
	9	体を動かす気持ちよさを体験させ、進んで体を動かそうとする意欲の育成している。	2.62		2.50					
指導改善（組織的・計画的）	10	学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫や改善をしている。	2.38	2.37	2.29	2.15	・日常の授業の最初に「めあて」をはっきりと示し、最後に「振り返り」を位置づけるよう共通理解・実践してきた。今後も指導者がつけたい力を明確にしながら取組を進めていく。 ・算数科の復習タイムを設け、継続的に取り組んだことが、基礎基本の定着につながっている。 ・国語科、算数科のデジタル教科書が整備されたのに加え、**昨年度よりタブレットが各教室に1台整備されている。使用方法が学習のめあてに沿うものであるときに有効利用をしていく。また、今後Eライブラリを子どもたちに提供することで自主的な学習の機会を保障する。** ・児童アンケートの「授業は楽しくて分かりやすい」という項目で、**「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」と答えている子もいたため、** 授業改善に継続的に取り組んでいく必要がある。 ・今行っている学習に関連づけた宿題を出したり、予習や調べ学習を取り入れた宿題を出したりするなど、工夫する必要がある。	2.6	・コンピュータを使っての家庭学習は有効ではあるが、一人ひとりの子どもたちがコンピュータを使える環境にあるかを確かめながら、慎重に進めて欲しい。 ・大変学習の工夫がされている。一方であまりにも親切丁寧すぎて子どもたちの自主性が積まれないように気をつけて欲しいと願う。 ・学びの条件整理がとてもできている。一方で社会に出て行く子どもたちの自主的な学習力もつけて欲しい。 ・エネルギータイムの10分間の取組により学力が身についてきているように感じる。 ・学年内で統一した取組ももっと多くしてもよい。 ・授業の初めに「めあて」を提示することにより本時の授業で何を気にしたら良いかが分かりとても良いと感じる。	・今後も自ら学ぶ力の向上のため、子どもたちの主体的な学びのサイクルを作り出すよう**教材研究を軸においた**指導改善に努めていく。 ・「めあて」と「振り返り」を指導過程に定着させることはもちろん、指導者がつけたい力の明確化を図り、児童にとっても見通しの持てる「めあて」の提示を実践する。
	11	教職員の指導力及び組織的な教育力の向上に努めている。	2.43		2.20					
	12	校務の効率化など多忙化解消の取組と教育活動の質の改善を行っている。	2.29		1.95					
育ちと学びを支える連携　① 家庭・地域との連携	13	保護者の子育てに対する積極的な支援を行っている。	2.38	2.43	2.20	2.20	・月に**1度の学校だより**と**ホームページの毎日の更新**、支所での掲示により、積極的な情報を発信を目指してきた。**ホームページの新着情報の閲覧数を増やす情報の発信や共有も行いたい。** ・ブックママによる読み聞かせなど、保護者、地域、関係機関との緊密な連携を今後も続けていきたい。 ・逢愛（総合的な学習の時間）で地域をはじめ多くのゲストティーチャーにお話を聞く取組を継続して実施した。 ・「緊急地震速報」を利用した避難訓練、「不審者対応」の避難訓練にも取り組んでいる。	2.8	・関心を示して保護者や地域に方々にホームページを閲覧してもらうには努力が必要である。ゲストティーチャーなど良いことをたくさん知ってもらうと良い。 ・学校ホームページ、学校だよりなど楽しく見ている。学校の取組がよく分かる。 ・地域の防災訓練に高学年の参加や教職員の参加を求めたい。 ・保護者アンケートの評価の低下を分析してより一層の教育の充実に努めて欲しい。 ・先生の仕事が多岐にわたっているので少なくなることを願う。 ・スクールガードの方々と年齢をこえた関係があることがありがたい。 ・「めあて」と「ふりかえり」を示し位置づけて様々な工夫ができている。子どもたちがいきたい、学校が楽しい授業がよく分かるといってくれることが一番だが、教師の多忙が気にかかる。しなければならないこととそうでないことの区別化、改善が必要である。	・教育実践活動や学校からのお知らせ、**学校ホームページ**など、今後も継続して広報活動に取り組む。 ・地域・保幼小中が連携した防災教育・防災訓練のあり方を模索し、実施に向けて検討する。
	14	保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用をしている。	2.52		2.33					
	15	防災教育の推進と安心・安全な学校づくりを行っている。	2.38		2.08					
育ちと学びを支える連携　② 保幼小中の連携	16	子どもの校種間交流や教員の出前授業を行っている。	2.52	2.35	2.25	1.98	・5・5交流、出前授業、生活科での1年生との交流を継続して実施している。 **・今年度は、幼稚園での研修会や幼稚園の作品展の見学などができなかった。今後、連携を考えて研修を深める、アプローチカリキュラムやスタートカリキュラムを考えられる様にしたい。** ・打出ブロックで保幼小中連携担当による会議を実施している。各校園間で授業・保育研究の交流も図っているが、なかなか参加できないのが現状である。	2.5	・小中の連携をすることで系統的な学習の構築や、成績のギャップを感じることなく学習できるようになると良い。 ・小中間の引き継ぎを大切にしながら、同じ目線で子どもを育てたい。 ・教員間の連携がもう少しあることを望む。 ・校種間の授業公開、合同の研修会はなかなかできにくい状況にあるので、子どもたちのの交流を通じて保幼小中の連携をしていきたい。 ・交流・合同研修を行うのは良いことである。多忙の中でできていないことを仕事のスリム化の中で実施して欲しい。大人も子どもも出会いは学びの場となる。	**・児童と生徒・園児を中心にしながら**、児童と教員、教員相互の交流・連携を活性化させると共に、保幼小中のつながりを意識した取組を継続して展開する。 **・学年を意識した学年部の取組や低・中・高学年部での取組を実施する。**
	17	校種間の合同研修会を行っている。	2.38		2.00					
	18	校種間の授業公開、カリキュラム研究をしている。	2.14		1.70					
組織的体制の充実　① 生徒指導体制の充実	19	いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の諸課題の早期発見、日常的な予防指導に努めている。	2.90	2.82	2.66	2.59	・問題行動等の発生から、解決に向けた具対策の検討、実施まで、組織的に対応することができた。「報告・連絡・相談」が十分機能するように、今後も全教員の危機意識を喚起し、徹底していきたい。 ・児童支援委員会、職員打合せ後のいじめ対策委員会を定期的に開催し、情報を交換することができた。 ・SOSアンケートを毎月実施し、担任および担任外で確認、対応することによって早期解決につながっている。**一方でそれらを見落とすと重大事案になるので一層注意したい。** ・児童アンケートの「人をいじめたり、仲間はずれにしたりしていない」、**「学校のきまりを守っている」「あいさつをよくしている」の項目で**、高い数値が出ている。しかし、子どもの現状と合っていないと感じる。	2.7	・様々なことを考えて子どもたちが自立で会蹴るできるように取り組まれている。いじめが「やった」「やられた」「みていた」という三層構造の中で早期解決を考えるばかりに子どもたちの思いを置き去りにした謝り合いや保護者への対応にならないようになることを願っている。 ・いじめなどの問題では、大人の解決に導く支援も大切だが、子どもたち自身が解決できるような力もつけていきたい。 ・ケガなども含めて、細やかな連絡があってありがたく思っている。	・「報告・連絡・相談」システムの常態化を継続し、危機意識を持って、未然防止・早期発見・早期対応に取り組むと共に、情報共有を基盤とした組織的対応を継続して実施する。
	20	生徒指導・教育相談体制の確立と組織的な推進している。	2.76		2.62					
	21	6つの約束の徹底（家庭・地域・関係機関との連携による指導）を行っている	2.81		2.50					
組織的体制の充実　② 特別支援教育の充実	22	個別指導計画の作成と活用に努めている。	2.76	2.73	2.50	2.47	・個別の指導計画を保護者と共に作成、見直しをしている。作成に当たっては、担任は勿論コーディネーターが積極的に関わっている。さらによりよい支援ができるよう努めていきたい。 ・日頃から支援を必要とする児童に関する相談や悩みを共有できている。 ・発達相談センター等関係機関と連携し、アドバイスを受けて、指導に役立てている。 ・看護師免許を持つ支援員を含めて3人配置されている特別支援教育支援員が児童のニーズに応じた支援をしている。児童が安心して学校生活を送ることができている。	2.8	・特別な支援の必要な子どもたちに発達に沿った支援や対応がなされている。 ・教室に戻ってこない児童のために、他の児童が迎えに行ってなかなか戻れなくなることがあると聞く。同級生の関係を考えるとそれも大切だが、体制的に良い方法はないものか。	・関係機関・保幼小中・保護者と連携しながら、出来る限りの合理的配慮を実施し、どの子も学んでよかったと思える体制づくりと指導・支援を行う。 **・引き続き、個性や個別の支援を大切にしながら必要に応じて個別の支援計画や個別の教育指導計画を作成し大局的見地に立った支援を行う。**
	23	組織的・計画的な特別支援教育体制の確立をはかっている。	2.81		2.45					
	24	関係機関と連携した相談体制の充実に努めている。	2.62		2.45					
学校満足度	25	児童生徒の学校満足度	2.52		2.10		**・児童の満足度は昨年度から，横ばい状況である。また，保護者の満足度が0.4ポイント下がっている。「とてもできている」という評価が少なかったことが原因と思われる。さらに満足度を高めていくためには，教職員が日々「切磋琢磨」の精神をもって校務に励む必要がある。**	2.70	・子どもたちの笑顔があふれる学校、一人ひとりが大事にされていることを感じられる学校になって欲しい。 ・居心地の良い学校になることを願っている。 ・6年生がこの6年間を大切に思える雰囲気になっている。 ・できないと「ダメ」というのではなく「できる喜び」から始めるということに共感を覚える。	・教員が教育目標の具現化に向けて、今後も自らり切磋琢磨しながら、自信をもって教育実践活動に取り組む。

読書活動	26	朝読書等の読書活動の積極的な取組	3.00		2.50		・朝の忙しい時間帯、朝読書に時間に教師からの連絡の時間が朝読書の時間に食い込むことがあった。 ・打出中ブロックで共通した取組を今後も続け、充実させていきたい。 ・児童も充実した時間だと感じている ・一部読書活動に消極的な児童がいるため、親しめるような手立てが必要である。**各学年で読む図書の内容の充実に努めたい。** また、家庭での習慣化を目指して連携および情報発信を強化していく。	2.70	・本に親しむ習慣をつけることは大切である。もっともっと本が好きになる活字の世界の大切さを発信して欲しい。 ・朝読書の内容を子ども任せにしないで、指導していくことも大切と感じる。（クラスによって先生によって持ち込まれている本が漫画もあると聞く）	・豊かな感性や情緒を育み、学力向上の基盤となる読書活動の取組を今後も継続していく。 **・今後、読書の内容を教職員間で一致させて朝読書の４原則に立ち返った読書活動を推進する。**
体験活動	27	環境教育等体験活動の積極的な取組	2.86		2.41		・エコスクール**14年連続認定**を目指している。 ・現在の取組について改善すべき点は改善を加え、今後も体験活動を重視した環境学習の充実・発展を目指して、様々な取組を展開するとともに**学習したことを発信できる表現力の育成に努める。** ・多くの地域の方、各専門分野の方を講師として招聘したり、自然と触れ合ったりする機会を今後も大切にしていく。	2.90	・恵まれた地域環境の中でとても素晴らしい活動をしている。継続して取り組むことは子どもたちの良い経験になる。 ・いろいろな体験をさせていただいていると思う ・エコスクールの事業で平成29年度には登録財団より立派な賞を頂いた。地域も頑張るので学校との連携を今後も願う。 ・ゴミ袋でたこ作りをするなど利用できるものを利用しながら体験できる学習を行うのも良い。	・本校の伝統である環境教育をはじめとする体験活動について、評価・改善を繰り返し、**更にその重要性を教職員一同で再認識するとともに**充実・発展を目指していく。

※	児童生徒アンケートのすべての評価の平均値（3点満点、小数第2位まで記入	2.51		2.48	
※	保護者アンケートのすべての評価の平均値（3点満点、小数第2位まで記入）	2.39		2.12	